

県南地区各中学校の運動部に所属する生徒の皆さんへ

全国民の様々な活動自粛により新型コロナウイルス感染症（COVID19）の拡大は現在のところある程度おさまっている状況です。

中学校においても、活動自粛期間の臨時休業がやっと終わりこれから徐々に学習活動が再開されることとなります。授業や部活動を通じて仲間と共に学んだり、汗を流したりする楽しさや喜びを感じている人も多くいると思います。でも COVID19 の終息宣言がなされない限り、これまでと全く同じような学校生活を送れるわけではありません。COVID19 の感染拡大防止に最大限配慮しなければなりません。

さて、中体連では夏季16種目の総合体育大会の全国大会、東北大会、そして、県大会を「皆さんの命を守る」ことを第一に考え、中止の決定をしました。

（駅伝競走大会及びスキー・スケート大会の可否は7月以降に決定される予定です。）

そこで3年生の皆さんにとって最後の活躍の場がなくなってしまうことから、なんとか県南地域などの小さい地区単位で様々な工夫により大会実施ができないかを模索しました。

県南大会においても COVID19 の感染拡大の特徴、3密になってしまうことがどうしても避けられない状況がでること、競技協会・連盟の方針、その他諸々の調査を重ねていく過程において、「皆さんの命を守る」ことを第一に考えた時、多くの方々のご理解を得た上で全競技を安全安心な状況で実施するのは難しいと判断するに至りました。

これまで皆さんが一生懸命に運動部活動に取り組み、それぞれの目標に向けて努力してきた成果を発表する場がなくなってしまうので本当に辛いのですが、理解してほしいと思います。

特に3年生の皆さんには最後の中体連大会での活躍の場が全くなくなってしまうことになってしまいましたが、これまでの努力が無になってしまうことはありません。部活動で培った困難に打ち勝つ心と身体、そして共にがんばってきた部員との絆は決してなくなるものではありません。これからの人生の中でそれが必ずいきてくるはずです。そして、高等学校に進んだ後も運動部活動に積極的に参加したり、生涯を通じて運動に親しんだりしてほしいと願っています。

今は、皆さん一人ひとりが COVID19 感染拡大を阻止するための取り組みをしっかりと行い、明るい未来を信じて前向きに生活していきましょう。

令和2年6月1日

県南中学校体育連盟	会長 荒井 孝祐
東西しらかわ中学校体育連盟	会長 桑原 透
石川中学校体育連盟	会長 岡崎 寛人